七戸バイパスが全線開通し、一般国道4号の交通がバイパスに転換

・一般国道4号の交通が、バイパスに転換。
特に大型車は、約9割がバイパスに転換。
・現道の騒音値が昼間5dB、夜間8dB減少し、環境基準値を満足。
・交通転換により現道の旅行速度が1~4割向上
・バイパス利用で、休日の通過時間が3割短縮。
・交通転換により現道の旅行速度が1~4割向上
・バイパス利用で、休日の通過時間が3割短縮。
・東北新幹線開業に先立ち、七戸バイパスが全線開通し、新幹線駅へのアクセス性が向上。

【開通前後の交通量】

【開通前後の現道の騒音】

【開通前後の通過時間】

【開通前後の現道の験音】

【データ元】
交通量・通過時間調査
※供用前（平日：H22.11.10、休日：H22.11.14）
供用1ヶ月後（平日：H22.12.15、休日：H22.12.19）
騒音調査
※供用前（H21.11.18～19）
供用後（H22.12.8～9）

※分岐している区間について、供用前の現道と供用1ヶ月後のバイパスの12時間（7時～19時）における平均通過時間を比較

【全線2車線開通した七戸バイパス】